

R6.9 命の週間における学校の取組について （清瀬第七小学校）

学年	教科・単元等	具体的な内容	・学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
全校	校長先生の講話を聴く	「ピースエンジェルス」 ピースエンジェルズの活動を紹介し、ヒロシマの歴史をもとに命の大切さにしようとする心情を育てる。	・ヒロシマの歴史を身近に感じ、かけがえのない命を大切にしたいという思いを高めるよう考えることができた。
1	道徳	「どきどき どっきんぐ」 生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。	・それぞれの児童が「いきているんだな」と感じることにについて考えることができた。
2	道徳 生活	「ほく」 生きていることの素晴らしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。 「生きもの大好き」 校庭にいた生きものを飼う学習を通して、命の大切さを考えた。	・身近にある自分の好きなものや人を考える活動を通して、自分自身への表彰状を書いた。生きていることの素晴らしさを考えることができた。 ・生きものの餌や、飼育環境を調べ考えた。小さくても命は尊く、大切にしていかなければならないことを学んだ。
3	道徳	「いただいたいのち」 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。	・小学校4年生でガンになり闘病の末、亡くなった児童の実話をもとに命について考えた。大切さは感じていたが、自分たちもいただいた命であると気づき一生懸命に生きていきたいと考えることができた。
4	道徳	「わたしの見つけた小さな幸せ」 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。	・当たり前前に生活できているということが幸せであるということに気付くことができた。 ・社会科の災害とインフラの学習と結び付け、世の中には生命を守ろうとする取り組みが多くあるということを考えることができた。
5	道徳	「お母さんへの手紙」 生命のかけがえのなさを自覚するとともに、人間の誕生の喜びや死の重さについて知り、よりよく生きようとする心情を育てる。	・命を脅かす病気にも負けずに、今ある命を精一杯輝かせようとする登場人物の心情に触れ、自分たちも自分の命を大切に、より良い生き方を目指していきたいと考えることができた。
6	学活 道徳	2学期学級開き「命の週間」の意義 『土石流の中で救われた命』 『たった一つの命だから』 命の大切さを自覚し、限りある命の中でよりよく生きようとする心情を育てる。	・「命の週間」について説明を聞き、一人一人が相談できる相手を再認識し、自他の命について考えることができた。 ・病気や災害といった困難に対しても、周囲を思いやり、前向きに生きようとする登場人物の生き方に触れ、自分も今ある命を大切にすることや周囲の人と助け合うことで前向きに生きていこうと考えることができた。
けやきA	道徳	「いんせきたまごのひみつ」 赤ちゃんが生まれるまでに、大切に育てられている話を観て、生命の尊さを知り、自分を大切にする気持ちを育てる。	・それぞれの児童が、お母さんのおなかの中で10か月間大切に育てられたことを知った。生き物を大切にしたい、自分や友達を大切にしたいという意見が出た。
けやきB	道徳	「たんじょうび」 おかあさんから、なつこが生まれたときの話を聞いて、自分が大切にされていることを知り、自分の命を大切にする気持ちを育てる。	・家族は、みんなが生まれてきてくれてうれしい気持ちをもっていることを知った。自分の命も友達の命も大切にしたいと考える児童がいた。
けやきC	道徳	「自分を知ろう」 自分を知り、自分を大切にする気持ちを持てるようにする。	・いろいろな側面から自分について、考え意見を発表する中で、少しずつ自分について知ることができた。友達の話を聞きながら、自分も友達も大切であることに気づくことができた。

け や き D	社会 道徳	『広島と戦争』 広島歴史と戦争の悲惨さについて知り、命の尊さを感じる。 『けんかといじめの違い』 いじめと喧嘩の違いを知り、相手と心地よい関わりとは何かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> • 広島は戦争でたくさんの被害が出たこと、そこから復興して今の綺麗な街並みがあることに気付けた。 • いじめは一方的に傷つける行為であり、喧嘩は相手と対等な立場であり、謝ることの出来る関わり合いであることを考えた。
け や き E	道徳 学活	『いのちのいれもの』 命のつながりや、命の大切さについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の命が様々な人々、動物など、たどっていくと4億年前から続いていることを知り、命のつながりの尊さについて考えることができた。 • 長い間つながってきた命を大切にしようという心情を育むことができた。
け や き F	道徳 生活単元	『パラリンピック』 パラリンピックの意味や、種目、選手などについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> • いろいろな障害のある人について知り、障害のある人がどんなことを考え、どんな気持ちでいるかを考えることができた。 • 障害のある人も、スポーツに取り組み頑張る姿を知ること、あきらめずに挑戦することの大切に気付けた。